

# H28年建築2級学科試験 問題

No1 日照、日射及び日影に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

- 1 天空日射量とは、日射が大気中で散乱した後、地表に到達する日射量をいう。
- 2 日照率とは、日照時間の可照時間に対する比を百分率で表したものをいう。
- 3 北緯35度付近における冬至の終日日射量は、南向き鉛直面が他のどの向きの鉛直面よりも小さい。
- 4 終日日影とは、建物などによって、1日中日影になる部分をいう。

答え--- 3

冬至の場合、南面が他のどの方向より終日日射量が多くなる。

No2 照明に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

- 1 均斉度は、作業面の最低照度の最高照度に対する比である。
- 2 演色性は、物の色の見え方に影響を与える光源の性質をいう。
- 3 点光源による照度は、光源からの距離の2乗に反比例する。
- 4 人工光源は、色温度が高くなるほど赤みがかった光色となる。

答え--- 4

色温度は赤みがかかるほど低い。高いほど青みを帯びて徐々に白くなる。

No3 音に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

- 1 残響時間は、室内の仕上げが同じ場合、室の容積が大きいほど長くなる。
- 2 ある音が他の音によって聞こえにくくなる現象を、マスキング効果という。
- 3 単層壁の透過損失は、同じ材料の場合、厚さが厚いものほど小さい。
- 4 人の耳に達する音は、音源から直進する直接音と、天井や壁などではね返される反射音がある。

答え--- 3

音の透過損失が小さいとは、吸収されずにそのまま聞こえる状態に近いこと。  
厚さが増すほど音が透過しにくい、つまり透過損失が大きくなる。

この過去問は受講者専用のページです。  
お申し込みされますと全ての過去問がご覧頂けます。  
お早目のお申し込みお待ちしております。

受講お申込みはこちらから



<https://www.sekou-net.jp/entry/>